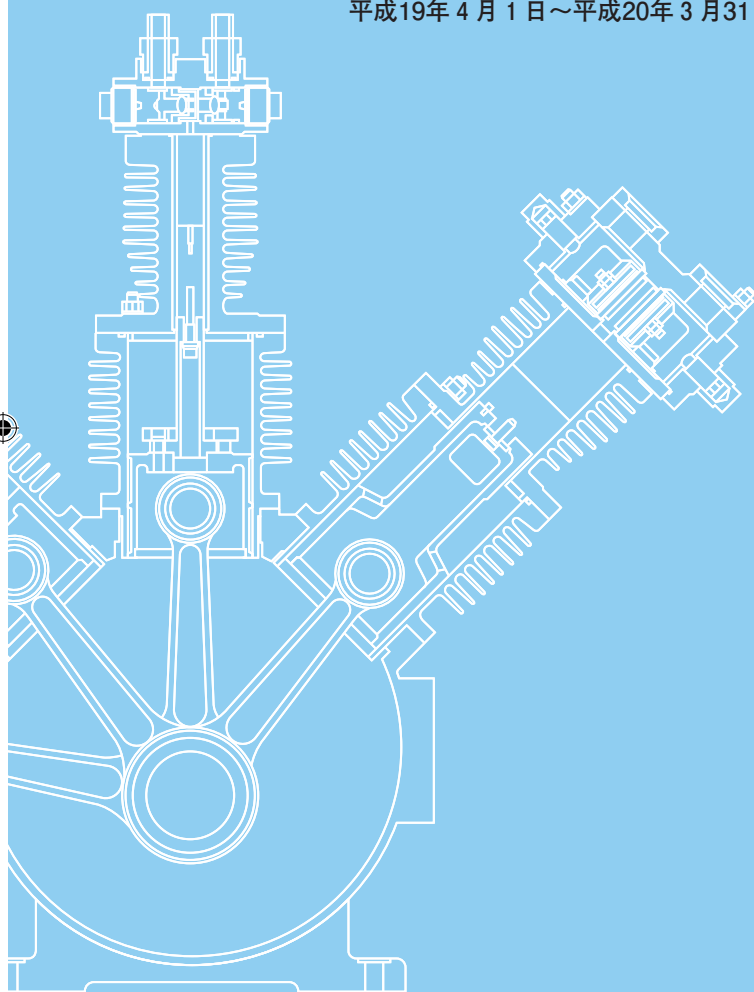


# 株主通信

## 第75期期末報告書

平成19年4月1日～平成20年3月31日



株式会社 加地テック

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

75期における日本経済は、輸出と設備投資が景気を牽引し、2002年から続いてきた景気回復基調を持続してきましたが、年度後半にはサブプライムローン問題に端を発する金融市場の混乱や米国経済の減速により、景況悪化と先行き不透明感が出てまいりました。又、最近の原油価格・資源価格の高騰による物価の上昇が、当社の収益を圧縮することが懸念される状況になってまいりました。

このような経営環境のもと、当社の75期の業績は輸出比率の増大や、石油化学、先端技術分野への果敢な挑戦により、期初予算を達成すると共に、売上・利益両面において過去最高を更新することができました。従来の業績を支えてきたCNGやペットボトル分野の市場の縮小に柔軟且つ迅速に対応し、新規分野・新規顧客の開拓ができたことが当期の業績に繋がったものと考えております。

上述の75期後半の経済情勢の影響による受注の減少により、期末の受注残は必ずしも望ましい水準ではありませんでしたが、76期に入り輸出案件その他の受注が活発化し、現時点では76期後半の工場稼働率は100%を超えることが予想される状況にあります。

76期の業績目標は75期より一段と高いレベルを掲げております。社員・役員一同この目標達成に向けて持てる力をフルに発揮する所存でありますので、株主の皆様始め、取引先関係者の皆様の絶大なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。



平成20年6月

代表取締役社長  
小林 士郎

## 事業の概況

### 【事業の経過および成果】

当期における日本経済は、高い経済成長を維持しているアジアなど新興国向けへの輸出が景気の回復を牽引してきました。しかしながら、サブプライムローン問題による米国の景気減速や、原油・資源価格の高騰と円高・ドル安による企業収益の悪化等で、企業の景況感は大大きく悪化しております。日経平均株価の昨年夏場以降の下落や、ガソリン・食料品の値上げによる消費者物価の上昇で消費者心理も悪化、景気回復のもうひとつの牽引役であった企業の設備投資も非製造業を中心に拡大基調が崩れだしてきています。

このような状況のもと、当社の当期の受注高は6,206百万円と前年同期比1,299百万円の減（△17.3%）となりました。内訳は圧縮機部門が5,189百万円で前年同期比252百万円の減（△4.6%）、繊維機械他部門が1,017百万円で前年同期比1,046百万円の減（△50.7%）となりました。圧縮機部門においてはエコ・ステーション建設の鈍化により天然ガス自動車用ガス充填圧縮機の受注が伸び悩んだものの、石油化学プラント用圧縮機およびペットボトル成形用圧縮機の受注は堅調に推移しました。また繊維機械他部門では中国向けのグラスファイバー用撚糸機の受注が前年大幅に増加した反動もあり前年同期比50.7%の減少となったものの市場環境は依然堅調であります。

当期末受注残高は2,028百万円で前年同期末比1,610百万円の減（△44.3%）となりました。内訳は圧縮機部門が1,705百万円で前年同期末比379百万円の減（△18.2%）、繊維機械他部門が323百万円で前年同期末比1,230百万円の減（△79.2%）となりました。

売上高は7,817百万円で前年同期比2,576百万円の増（+49.2%）となりました。内訳は圧縮機部門が5,569百万円と前年同期比1,063百万円の増（+23.6%）、繊維機械他部門は2,248百万円で前年同期比1,512百万円の増（+205.7%）となりました。圧縮機部門では石油化学プラント向け圧縮機が前年同期比200%増の1,287百万円と大幅に売上を伸ばしたことが寄与、また繊維機械他部門では中国向けグラスファイバー用撚糸機の輸出が大幅に増加したことが寄与しました。

利益面では営業利益が516百万円で前年同期比101百万円の増、経常利益は529百万円で前年同期比107百万円の増、当期純利益は306百万円で前年同期比61百万円の増となりました。



### 【今後の見通し】

今後の日本経済の見通しにつきましては、鋼材、非鉄金属等原材料の値上りや、民間企業の設備投資が調整局面を迎える等予断を許さない状況にあります。当社といたしましては当社技術力をフルに生かした海外向け石油化学プラント用圧縮機や特殊ガス用圧縮機の受注に向け努力してまいります。

平成21年3月期の見通しにつきましては、平成20年4月に約16億円の海外向け圧縮機大口受注もあり、順調なすべりだしとなっております。平成21年3月期の売上高は7,000百万円、営業利益550百万円、経常利益570百万円、当期純利益330百万円を見込んでおります。

### 【対処すべき課題】

日本の企業を取り巻く経済環境は、中国の力強い需要を背景とした鋼材・非鉄金属価格の高騰、円高の進展に伴う輸出の伸びの鈍化、企業の設備投資の減速懸念等、諸々の不透明要因があります。このような経済環境のもと、当社は原材料の調達方法の改善・見直しや、さらなる生産効率の向上を図り、安定した収益力を維持できるよう努めてまいります。また、水素ガス・天然ガス等の可燃性ガスの超高压圧縮機や、塩化水素等特殊ガスの圧縮機、環境関連機器等への研究開発・販売拡大に一層の経営資源を注いでまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## トピックス

### 【天然ガス自動車用パッケージ型天然ガス充填設備を販売開始】

当社は圧縮機と簡易ディスペンサをパッケージにし、天然ガス自動車用ガス充填スタンドの建設コストを従来に比べ大幅に削減、また設置スペースも大幅に省スペース化した「パッケージ型天然ガス充填設備」を開発し、2008年2月から販売を開始しました。

このパッケージ化では、圧縮機、ディスペンサ等、各機器間の配管・配線が簡素化され、さらに基礎工事・建設工事等も大幅に削減されることにより、今までの「天然ガス・スタンドを建設する」から「充填設備を据置する」方式への転換が図られました。この結果、従来型の天然ガス・スタンド建設に比べ、土地代、機器設備代、建設費用等、天然ガス・スタンド建設の総コストをほぼ50%削減できることとなります。

既に、運輸関係・配送関係の事業主様から、自社の敷地内に充填設備を持ちたいという、強い関心が寄せられています。

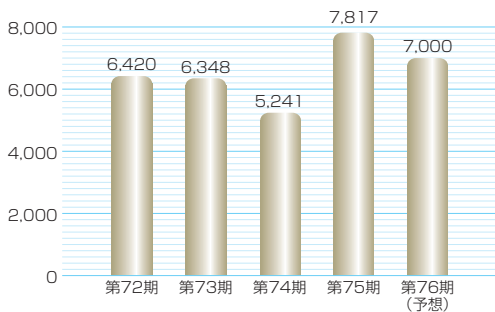
当社は、この「パッケージ型天然ガス充填設備」の開発によるインフラコストの大幅削減と、天然ガスの価格優位性（対ガソリン・軽油）との相乗効果により、地球に優しい天然ガス自動車の普及に弾みがつくことを願っています。



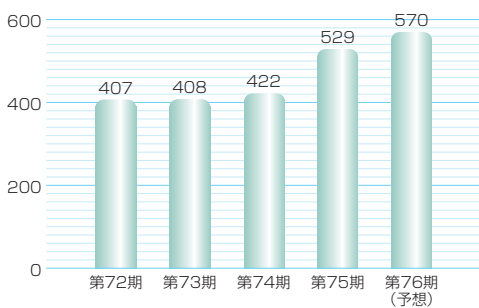
大阪ガス(株)兵庫導管部（神戸ポートアイランド内）に納入設置されたパッケージ型天然ガス充填設備

# 業績ハイライト

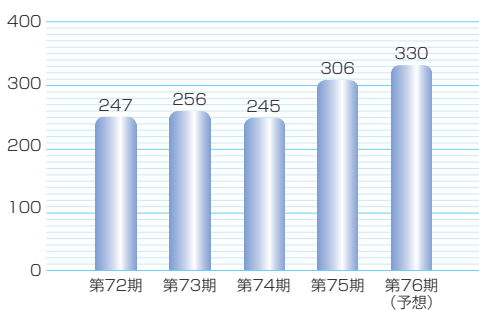
## ■ 売上高 (単位：百万円)



## ■ 経常利益 (単位：百万円)

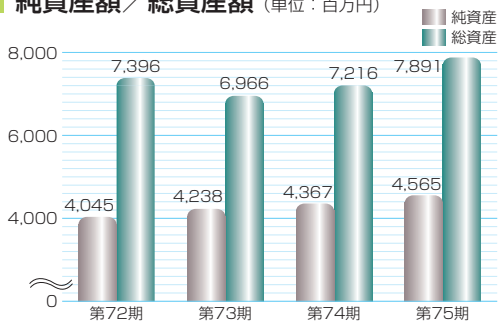


## ■ 当期純利益 (単位：百万円)

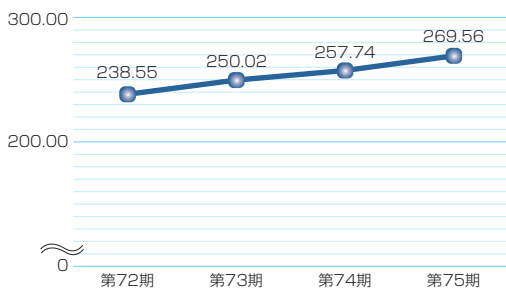




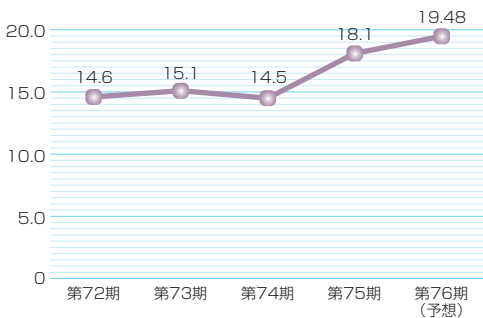
## ■ 純資産額／総資産額 (単位：百万円)



## ■ 1株当たり純資産額 (単位：円)



## ■ 1株当たり当期純利益 (単位：円)



# 貸借対照表 (平成20年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		
科 目		金 額
流 動 資 産		
現 金 預 金		748,081
受 取 手 形		566,604
売 掛 金		2,629,361
製 品		44,040
仕 掛 品		1,337,104
材 料 貯 蔵 品		317,878
預 け 金		800,000
繰 延 税 金 資 産		133,741
そ の 他 の 流 動 資 産		52,898
貸 倒 引 当 金		△ 9,700
流 動 資 産 合 計		6,620,009
固 定 資 産		
有 形 固 定 資 産		
建 物		132,084
構 築 物		26,696
機 械 装 置		138,350
車 両 運 搬 具		723
工 具 器 具 備 品		21,704
土 地		447,525
計		767,084
無 形 固 定 資 産		
ソ フ ト ウ ェ ア		203
電 話 加 入 権		2,879
計		3,082
投 資 そ の 他 の 資 産		
投 資 有 価 証 券		232,164
繰 延 税 金 資 産		188,340
そ の 他 の 投 資		80,562
計		501,067
固 定 資 産 合 計		1,271,235
資 産 合 計		7,891,244

- (注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 2,502,899千円  
 2. 国庫補助金等の受入による有形固定資産（機械装置、構築物、工具器具備品）の圧縮累計額は、130,596千円であります。  
 3. 重要なリース資産  
 貸借対照表に計上した固定資産のほか、技術用電子機器および事務機器の一部、その他についてリース契約により使用しております。

(単位：千円)

負債の部					
科	目			金額	
流動	支	動	負	債	
	買	払	手	形	1,531,518
	短		掛	金	477,655
	期		借	入	202,500
	未		払	金	23,808
	未	払	法	人	税
	未	払	費	等	124,098
	前		受	引	金
	賞	与	当	金	123,663
	受	注	損	引	当
	そ	の	他	流	動
	流	動	負	債	金
		定	負	合	計
					2,841,735
固定	退	職	給	付	引
	役	員	退	職	引
	固	定	負	債	合
					計
					419,905
					63,970
					483,876
					負債合計
					3,325,611
純資産の部					
株	主	資	本	金	
	資	本	剰	余	金
			準	備	金
			金	合	計
					1,440,000
					1,203,008
					1,203,008
					141,600
					625,000
					1,171,144
					1,796,144
					1,937,744
					△ 40,358
					4,540,394
					12,227
					13,011
					25,239
					純資産合計
					4,565,633
					負債・純資産合計
					7,891,244

4. 担保に提供している資産 有形固定資産174,948千円

## 損益計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	7,817,536
売 上 原 価	6,496,781
売 上 総 利 益	1,320,755
販売費及び一般管理費	804,542
営 業 利 益	516,212
営 業 外 収 益	17,794
営 業 外 費 用	4,748
経 常 利 益	529,258
税引前当期純利益	529,258
法人税、住民税及び事業税	215,610
法 人 税 等 調 整 額	6,669
当 期 純 利 益	306,978

(注) 1株当たり当期純利益(期中平均発行株式数による) 18円12銭

## キャッシュ・フロー計算書(要旨) (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：千円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	797,786
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,671
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 113,884
現金及び現金同等物の期末残高	1,548,081

# 株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成19年3月31日残高	1,440,000	1,203,008	1,203,008
当事業年度中の変動額			
剰余金の配当	—	—	—
当期純利益	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額(純額)	—	—	—
当事業年度中の変動額合計	—	—	—
平成20年3月31日残高	1,440,000	1,203,008	1,203,008

	株主資本					
	利益剰余金				自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
別途積立金		繰越利益剰余金				
平成19年3月31日残高	141,600	625,000	965,845	1,732,445	△37,732	4,337,721
当事業年度中の変動額						
剰余金の配当	—	—	△101,679	△101,679	—	△101,679
当期純利益	—	—	306,978	306,978	—	306,978
自己株式の取得	—	—	—	—	△ 2,626	△ 2,626
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—
当事業年度中の変動額合計	—	—	205,299	205,299	△ 2,626	202,672
平成20年3月31日残高	141,600	625,000	1,171,144	1,937,744	△40,358	4,540,394

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日残高	30,087	—	30,087	4,367,808
当事業年度中の変動額				
剰余金の配当	—	—	—	△ 101,679
当期純利益	—	—	—	306,978
自己株式の取得	—	—	—	△ 2,626
株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額(純額)	△ 17,859	13,011	△ 4,847	△ 4,847
当事業年度中の変動額合計	△ 17,859	13,011	△ 4,847	197,824
平成20年3月31日残高	12,227	13,011	25,239	4,565,633

## 会社の概要

- 社名** 株式会社加地テック  
KAJI TECHNOLOGY CORPORATION
- 創立** 明治38年5月（1905年）
- 会社設立** 昭和9年2月（1934年）
- 資本金** 14億4,000万円（大阪証券取引所第二部上場）
- 製造品目** **空気及びガス圧縮機**  
水冷・空冷式圧縮機  
給油・オイルフリー・オイルレスタイプ圧縮機  
石油化学・産業ガス用  
電力・試験・一般産業用  
ペットボトルブロー成形用  
天然ガス自動車燃料充填用  
燃料電池自動車燃料充填用  
各種ガス回収精製装置
- 繊維機械**  
タイヤコード用撚糸機  
グラスファイバー用撚糸機  
産業資材用撚糸機
- 所在地** **本社・工場**  
〒587-0064 大阪府堺市美原区菩提6番地  
TEL：072-361-0881（代表）  
FAX：072-362-4491（総務部）
- 東京支社**  
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2丁目20番15号  
高田馬場アクセス3F  
TEL：03-3232-2651（代表）  
FAX：03-3232-2650
- 大阪支店**  
〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目5番7号  
大阪丸紅ビル13F  
TEL：06-6264-8600（代表）  
FAX：06-6264-8604
- サービスセンター**  
〒275-0023 千葉県習志野市芝園2丁目2番6号  
TEL：047-452-7660（代表）  
FAX：047-452-7666

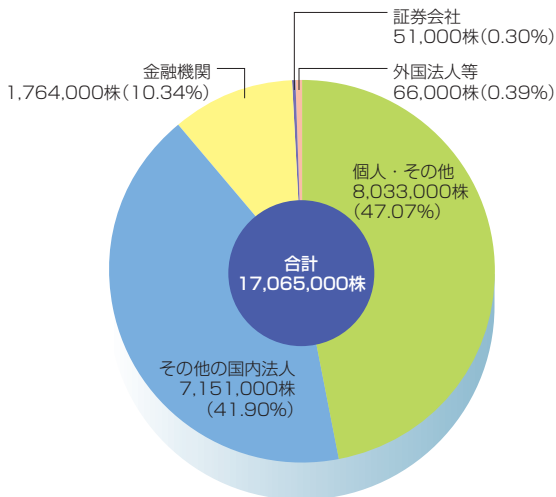
# 株主の状況

## 【大株主の状況】

株主名	持株数
丸紅株式会社	6,330千株
株式会社みずほ銀行	508
株式会社神戸製鋼所	500
加地取引先持株会	440
みずほ信託銀行株式会社	303
株式会社三菱東京UFJ銀行	200
株式会社近畿大阪銀行	200
東京海上日動火災保険株式会社	183
松原佐多子	176
日本生命保険相互会社	172

(注) 当社は、自己株式242,608株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

## 【所有者別株式の分布状況】



(注) 上記株式数には、単元未満株式115,000株は含まれておりません。

## 役員 (平成20年6月25日現在)

役 職	氏 名	担 当
代表取締役 社長	小 林 士 郎	
専務取締役	山 末 三	第一生産部・第二生産部・技 術部担当役員
常務取締役	小 野 俊 一	東京支社長兼大阪支店担当役 員
常務取締役	石 野 開	サービス部部长兼サービスセ ンター担当役員
取 締 役	横 浜 淳 司	総務部部长兼経理部部长
取 締 役	伊 藤 芳 輝	技術部部长
取 締 役	岩 澤 勇 三	東京営業部部长
取 締 役	蔵 元 正 隆	
取 締 役	河 村 肇	
常勤監査役	安 本 郁 夫	
監 査 役	藤 原 一 雄	
監 査 役	山 岩 由 郎	
監 査 役	八 尾 尚 史	

- (注) 1. 蔵元正隆氏、河村 肇氏は会社法第2条第15号に定める社外取  
締役であります。  
2. 山岩由郎氏、八尾尚史氏は会社法第2条第16号に定める社外監  
査役であります。

# 株主メモ

- 事業年度** 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月中
- 上場金融商品取引所** 大阪証券取引所市場第二部
- 株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- 郵便物送付及び  
電話お問合せ先** 〒135-8722  
東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話0120-288-324(フリーダイヤル)
- 同 取 次 所** みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
(トラストオフィスを除く)  
  
みずほインバスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
- 基 準 日** 定時株主総会 毎年3月31日
- 単 元 株 式 数** 1,000株
- 公 告 方 法** 電子公告(当社ホームページに掲載)  
[アドレス] <http://www.kajitech.com>  
ただし、事故その他やむをえない事由  
によって電子公告による公告をすることが  
できない場合は、日本経済新聞に  
掲載する方法により行います。